

委員会会議録

(一社) 滋賀県トラック協会

会議名	令和7年度 第2回 適正化事業運営委員会
開催日時	令和7年11月26日(水) 9:55～:11:20
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3階 「会議室」
出席者	委員12名、事務局6名

協議内容
<p>定刻開会。</p> <p>1. 松田本部長より開会にあたり挨拶があり、先日実施された滋賀運輸支局長表彰(Gマーク)において、多くの会員事業者が表彰されたことを報告され、これは大変素晴らしい成果であり、今後も継続していきたい旨が述べられた。 また、先日開催した「物流セミナー」について、荷主企業を含む多数の参加を得て、業界として課題となっている「カスハラ(カスタマーハラスメント)」問題について、先駆けて理解を求める機会となったことが説明された。 続けて、来年度開催するセミナーには国土交通省および公正取引委員会の担当者が出席予定であり、これを機に改めて運送業界の現状や課題を訴えていきたい旨を述べられた。 最後に、今後の活動に向け参加者から幅広い意見を求めたいと挨拶があった。</p> <p>西村委員長より、先日適正化事業課による巡回指導を受けた旨の報告があった。また、巡回指導において数点の指摘事項を受けたことを説明され、これらの指摘事項を踏まえ、運送業界における問題点についても併せて改善を図っていききたいとの挨拶があった。 その後、西村委員長が議長となり議事に入った。</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 適正化実施機関の活動状況について 「令和7年度巡回指導調査結果」「令和7年度適正化実施機関の活動状況(4月～9月)」について資料P1～7に基づき事務局より説明があり、下記意見があった。 <巡回指導> ・初任ドライバー教育に関する指摘が多い一方、安全確保指導の指摘が減少傾向にある理由はなにかあるのか。 →実施状況が確認できている場合は指摘対象とならないため、このようなデータになっている。 ・点検記録の保存について、3か月点検に関する指摘が多いのか。 →実際には新車1年目の12か月点検に関する指摘が多いが、全体的に徐々に浸透しており、減少傾向にある。</p>

また、現在は新車の供給が不足しており、運送会社としては車両を確保しておきたい状況が続いている。

しかし、稼働していないトラックであっても点検対象となる現行制度については課題があるとの意見があり、古い基準・法律の見直しを求めていく方向で意見が一致した。

<その他>

- ・ P 2 (5) に記載されている日時に誤りがあるのではないか。
→令和 8 年が正しい。
- ・セミナーに参加できなかった会員向けに滋ト協HP内に資料、又は動画の掲載はあるのか。
→現在行っていないが、今後検討していく。
- ・ Gメン調査員の合同パトロールの聞き取りデータ等はあるのか。
→運輸支局に確認し後日報告。

その後「安全性評価事業申請状況」「過積載防止対策連絡会議」について資料 P 8 ~ 1 3 に基づき説明があり、下記意見があがった。

- ・ Gマークを失効された事業所の理由はなにかあるのか。
→日頃の業務が多忙で対応が困難、制度によるインセンティブ（メリット）を十分に感じられない等の理由が挙げられる。

(2) 当面の事業計画について

「評議委員会について」資料 P 1 4 に基づき事務局より説明があり、荷主関係者の「株式会社たねや」が今回は欠席の回答であることを報告後、協議に入った。

協議の結果、代役の荷主については、理事会にて関係者を募り、検討していく事となった。

その後「標準的運賃活用セミナーの開催について」「運行管理者国家試験事前勉強会の開催について」「トラック適正化二法・下請法改正セミナーの開催について」資料 P 1 5 ~ 1 9 に基づき事務局より説明があり、下記意見があがった。

- ・琵琶湖マリオットホテルについて、過去にセミナー等を実施した実績があるのか
→過去にライオンズのイベントを同規模で開催した実績がある。

その後「Gマーク広報グッズ作成（案）一覧」 P 2 0 に基づき事務局より説明があった。

続けて令和 8 年 2 月 2 6 日のセミナーにおいて配布予定である報告後協議に入り、下記意見があがった。

- ・消耗品は使い切れれば破棄されるため、広報物としての寿命が短く、配布には適さないのではないか。
- ・ミニフェイスタオルではなく、スポーツタオルの方が良いのではないか。
- ・配布物のターゲットは荷主なのか、業界関係者なのか明確にしてはどうか。
- ・カレンダーを配布してはどうか。
- ・長く使用できるものが望ましいため、バインダーを配布してはどうか。
- ・細長いタイプのマグネットを配布してはどうか。
- ・高速安全協議会が配布しているタオルはインパクトがあるため、参考にしてはどうか。

- ・ボールペンを配布してはどうか
- ・ティッシュケースをラッピングトラック風にデザインしてはどうか。

これらを踏まえ、事務局にて案を整理し、次回理事会にて報告する事となった。

続いて「巡回指導チェックポイントテキストについて」事務局より資料P 21～22に基づき説明があった。

下記意見があがった。

- ・ページ数はどの程度を想定しているのか。
- 他府県トラック協会の同類資料は、内容が硬くページ数も多いが、本テキストについてはイラスト等を活用し、簡潔にまとめる方針であり、約20ページ程度の構成を予定している。

協議の結果、方針のとおり作成を進めていく事となった。

(3) 令和8年度予算書（案）について

事務局より、資料P 23～26に基づき事務局より説明があった。

その後、令和8年度運輸安全マネジメントセミナーは「SOMPOリスクマネジメント株式会社」に講師依頼する事が決定した。

(4) その他

資料30に基づき事務局より「車輪脱落事故防止」のチラシの案内を行った。

その後、松田会長より、会議のスムーズな進行に対し事務局へ謝意を述べられた。続いて、大型車の車輪脱落事故について言及があり、各種講習等で周知を図っているが、依然として知識不足の方が多く見受けられることから、今後さらに周知徹底に努めていきたい旨の挨拶があった。

以上で終了し、中田氏より挨拶があり閉会となった。

次回 後日調整

以上